

# 特集 風水害から身を守る

近年、地球温暖化の影響などにより豪雨災害の発生回数が全国的に増えており、河川の氾濫や土砂災害が起きやすくなっています。台風や大雨の多発するこの季節に風水害から身を守るために、対策ポイントを確認しておきましょう。

▶問合せ 総務課庶務係 ☎24-5111 (内線111)

▲大雨の後に増水した利根川

## 1 防災マップを確認しましょう



▲昭和村防災マップ

▲昭和村防災の手引き

あらかじめ警戒が必要な場所を確認しておきましょう。「防災の手引き」は、詳細な防災マップに加え災害への備えや避難の方法などについて詳しく解説されています。「防災マップ」は、村内に潜む危険を一目で確認できますので、家族の目にとまる場所に掲示しておきましょう。村ホームページにも掲載していますのでご活用ください。

村ホームページ▶

昭和村 防災マップ

検索

昭和村 防災の手引き

検索



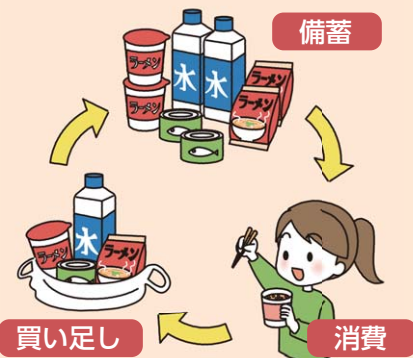
## 2 家庭でも備蓄しておきましょう

災害発生時に避難所で生活することや、自宅や親戚・知人宅に身を寄せて安全を確保する「在宅避難」という手段もあります。在宅避難に備え、日頃から備蓄をしておきましょう。

- ☑ 食料や水 1人最低3日分が目安
- ☑ 食料品 ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなどを最低3日分用意
- ☑ 感染症対策用品 マスク、手指消毒用アルコール、石けん・ハンドソープ、ウェットティッシュ、体温計
- ☑ 家族にあわせた準備 常備薬、眼鏡、着替え、おむつ、ミルク、哺乳瓶、離乳食、スプーン、食品用ラップ、おしりふき など



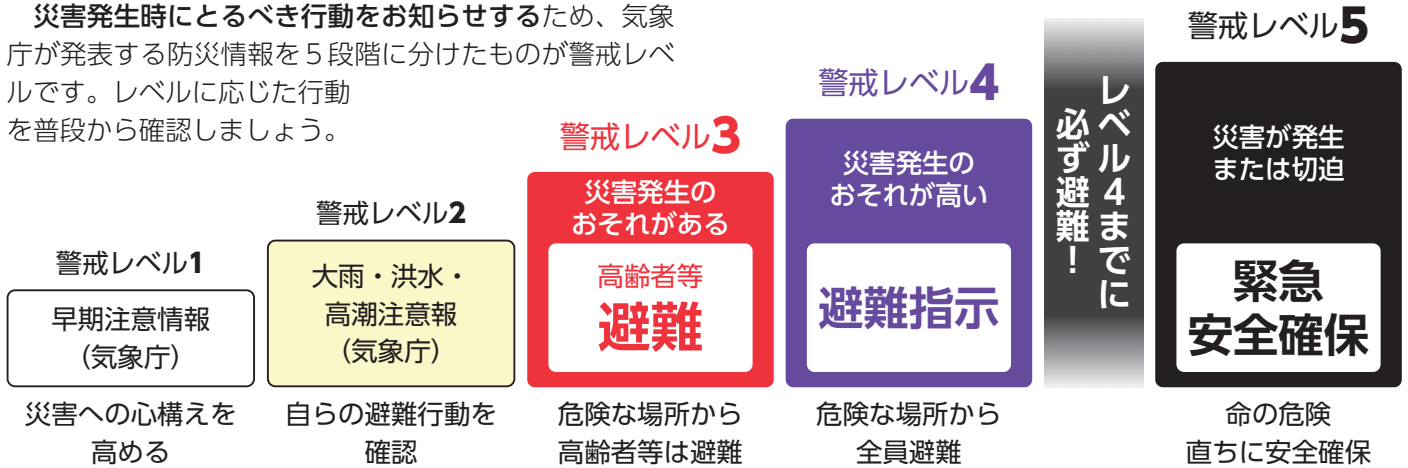
### ローリングストック (循環型備蓄)の習慣を!



食料や日用品を少し多めに買い置き、日頃の生活の中で使いながら買い足し、常に一定の備蓄量を保つ方法です。

### 3 警戒レベルに応じた行動をとりましょう

災害発生時にとるべき行動をお知らせするため、気象庁が発表する防災情報を5段階に分けたものが警戒レベルです。レベルに応じた行動を普段から確認しましょう。



### 4 いざという時は自助・共助の意識を持ちましょう

災害時は、自身や家族の身を守る「自助」、近隣住民や地域による「共助」、国や自治体による「公助」を組み合わせることで身を守ることになります。しかし、すべての被災者を自治体だけで支援することが難しい場合や、庁舎などが被災して機能が麻痺した場合、「自助・共助」の意識を持つことが被害を食い止めることにつながります。

**高齢者・傷病者には…**

援助が必要なときは、複数人で安全な場所まで誘導します。

**妊婦・乳幼児には…**

妊婦や乳幼児を抱えている方が困っていないか、声をかけましょう。

**車いすの方には…**

階段などでは、2、3人で協力し恐怖心を与えないようにします。

**1 2 3で自分を守る**

少しでも被害に遭わないよう日頃から備え、行動しましょう。

### 5 情報を入手しましょう

避難の目安となる情報などを確認できます。いざというときに落ち着いて行動できるよう情報を入手しましょう。

#### 昭和村「集めーる」



防災情報などを電子メールで配信するサービスで、気象や災害、避難に関する情報などをお届けします。

すでに受信登録しているのにメールが届かない方は、次のドメインからのメール受信を許可していただきますようお願いいたします。  
[vill.showa.gunma.jp](mailto:vill.showa.gunma.jp)



QRコードを読み取って空メールを送信してください。

#### 昭和村雨量観測システム

台風や豪雨などの災害対策として、村内3カ所と県設置の3カ所の、10分間・1時間の積算雨量と連続雨量を観測しています。

村の避難情報発令の判断や、皆さんの自主避難判断などに活用いただけます。  
<http://showa-staff.tenki.ne.jp>

QRコードを読み取って登録してください。

